平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月3日

上場会社名　株式会社 ティア　　上場取引所　名
コード番号　2485　URL　http://www.tear.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 冨安　徳久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 山本　克己　TEL 052-918-8254

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	2,056	5.3	231	59.2	214	69.0	112	157.7
23年9月期第1四半期	1,953	4.8	145	△35.4	126	△39.7	43	△64.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	49.29	―
23年9月期第1四半期	19.13	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	7,695	2,129	27.7
23年9月期	7,298	2,085	28.6

(参考) 自己資本　24年9月期第1四半期　2,129百万円　23年9月期　2,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年9月期	―				
24年9月期(予想)		0.00	―	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	5.2	442	5.0	402	4.4	229	17.6	100.91
通期	8,620	10.1	779	6.0	700	5.8	400	13.0	175.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	2,278,000 株	23年9月期	2,278,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	53 株	23年9月期	41 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	2,277,952 株	23年9月期1Q	2,277,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に伴う設備投資の増加や、底堅く推移する個人消費等を背景に、国内需要は緩やかに改善しております。一方、欧州危機や新興国の成長鈍化、長期化する円高等により輸出や生産活動が停滞し、これにより日本経済全体では厳しい環境となりました。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は約30年間にわたり年々逓増すると推計されております。また、葬儀を題材にしたテレビドラマの放映や、映画「エンディングノート」のロングラン上映等もあり、業界に対する社会的な注目はより一層、高まるものと予想されます。業界全体の状況につきましては、人口動態等を背景に売上高、葬儀件数は増加傾向で推移しているものの、葬儀単価におきましては核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。また、当第１四半期累計期間におきましては、「新生ティア」をスローガンに掲げ、戦略の基本方針をブラッシュアップすべく、７つの戦略テーマを設け積極的に推進してまいりました。

葬儀会館の状況につきましては、愛知県岡崎市に「ティア岡崎中央」を直営店として開設したことに加え、フランチャイズ店を４店舗開設いたしました。これにより、直営店は30店舗、フランチャイズ店は25店舗となり、合わせて55店舗となりました。また、既存店におきましても、多様化する顧客ニーズに対応するために「ティア浄心」の改修工事を実施いたしました。

この結果、当第１四半期累計期間の葬儀施行件数は1,567件（前年同期比1.6％増）、売上高は20億56百万円（同5.3％増）となりました。経費面におきましては、前年同期と比べ売上原価率が3.3ポイント、販管費率が0.5ポイントそれぞれ低下いたしました。これにより、営業利益は２億31百万円（同59.2％増）、経常利益では２億14百万円（同69.0％増）、四半期純利益は１億12百万円（同157.7％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第１四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、堅調に推移する既存店に加え、当第１四半期累計期間及び前事業年度に開設した会館の稼働により、葬儀件数は順調に増加いたしました。また、葬儀単価におきましても、人材配置の見直しや受注専門スタッフの増員等により、前年同期比4.1％増を確保しております。この結果、売上高は20億５百万円（同5.0％増）、営業利益は３億43百万円（同26.5％増）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第１四半期累計期間におけるフランチャイズ店は前年同期と比べ８店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加いたしました。また、当第１四半期累計期間に開設した４店舗（既存クライアント４店舗）の加盟金等が計上されたため、売上高は50百万円（同18.6％増）、営業利益は20百万円（同97.9％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期会計期間末における流動資産は16億39百万円となり、前事業年度末に比べ３億14百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が３億１百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は60億56百万円となり、前事業年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が１億７百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、76億95百万円となり、前事業年度末に比べ３億96百万円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期会計期間末における流動負債は21億70百万円となり、前事業年度末に比べ１億63百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が１億73百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は33億95百万円となり、前事業年度末に比べ１億89百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が２億円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、55億66百万円となり、前事業年度末に比べ３億52百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産合計は21億29百万円となり、前事業年度末に比べ43百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益１億12百万円及び剰余金の配当68百万円があったこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,001,189	1,302,666
売掛金	135,706	181,753
商品	11,703	13,841
その他	179,719	143,698
貸倒引当金	△3,521	△2,611
流動資産合計	1,324,797	1,639,348
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,870,065	3,015,777
土地	1,286,568	1,287,418
その他（純額）	489,200	450,260
有形固定資産合計	4,645,834	4,753,457
無形固定資産	193,302	180,365
投資その他の資産		
差入保証金	917,378	907,516
その他	217,603	214,881
投資その他の資産合計	1,134,982	1,122,398
固定資産合計	5,974,118	6,056,220
資産合計	7,298,916	7,695,569
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,426	319,726
短期借入金	76,668	250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,131,470	1,161,731
未払法人税等	163,040	63,257
賞与引当金	73,781	36,714
その他	317,167	339,125
流動負債合計	2,007,553	2,170,554
固定負債		
長期借入金	2,902,839	3,103,039
資産除去債務	135,961	136,558
その他	167,205	156,135
固定負債合計	3,206,005	3,395,732
負債合計	5,213,558	5,566,287

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	580,750
資本剰余金	214,250	214,250
利益剰余金	1,290,430	1,334,366
自己株式	△75	△91
株主資本合計	2,085,354	2,129,275
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	7
評価・換算差額等合計	2	7
純資産合計	2,085,357	2,129,282
負債純資産合計	7,298,916	7,695,569

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	1,953,497	2,056,297
売上原価	1,352,495	1,354,910
売上総利益	601,002	701,386
販売費及び一般管理費	455,427	469,568
営業利益	145,574	231,818
営業外収益		
受取利息	1,505	1,470
受取保険金	263	－
その他	2,710	3,015
営業外収益合計	4,479	4,485
営業外費用		
支払利息	21,213	20,861
その他	2,000	1,061
営業外費用合計	23,213	21,922
経常利益	126,841	214,381
特別利益		
貸倒引当金戻入額	79	－
賞与引当金戻入額	2,192	－
特別利益合計	2,272	－
特別損失		
固定資産除売却損	296	3,071
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	50,644	－
特別損失合計	50,941	3,071
税引前四半期純利益	78,171	211,309
法人税、住民税及び事業税	37,110	59,700
法人税等調整額	△2,509	39,334
法人税等合計	34,601	99,034
四半期純利益	43,570	112,274

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	葬祭事業	フランチャイズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,910,703	42,793	1,953,497	－	1,953,497
計	1,910,703	42,793	1,953,497	－	1,953,497
セグメント利益	271,839	10,481	282,321	△136,746	145,574

（注）１．セグメント利益の調整額△136,746千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	葬祭事業	フランチャイズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,005,537	50,759	2,056,297	－	2,056,297
計	2,005,537	50,759	2,056,297	－	2,056,297
セグメント利益	343,844	20,745	364,589	△132,770	231,818

（注）１．セグメント利益の調整額△132,770千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。